

『Mind Charging』

第 168 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 12 月 3 日

コナン・ドイルの名言



When I'm fanciless, there is nothing fearfulness.

想像力がなければ、怖いものはない。

なるほど！確かに！と思う言葉ですね。怪談などの怖い話を聞いても『もし、その現場に自分がいたら・・・』と想像することで恐怖感が生まれます。日々の生活の中でも『もし失敗したらどうしよう・・・』と、失敗した瞬間の自分を想像することで恐怖感を抱きます。そして、想像力は時として現実以上のレベルまで大きくなって自分自身の心に迫ってくることがあります。

しかし、想像力というものは単に恐怖心を煽るものだけではありません。中学生時代、みなさんは『高校生になったら・・・』と、大きな希望と共に現在過ごしている高校生活について思いを馳せたことでしょうか。そして現在も『冬休みになったら〇〇しよう』など、想像しながら楽しみにしていることもあるのではないのでしょうか。このように、想像力によって幸せな気持ちにもなることができます。このコラムでも何度も述べている『夢や目標を持つ』という中でも、達成した瞬間の自分を想像することで、辛い時でも努力を重ねるのだと思います。そういう意味では想像力によって人間は成長すると言っても過言ではありません。

これまで多くの発明家や研究者によって開発され、私たちの暮らしを便利で快適にしてきた様々な機器についても『これが家庭にあったら便利だろうな・・・』という想像があって開発がスタートしたはずです。私はこの言葉には続きがあると考えます。その続きとは、『ただし、人々が求める幸せや豊かさもない』ではないのでしょうか。人間の非常に重要で素晴らしい能力である想像力をフル活用して未来をより良いものに創造していきましょう！（編集委員：入試広報室 鈴木）

サー・アーサー・イグナティウス・コナン・ドイル(英語: Sir Arthur Ignatius Conan Doyle, KStJ, DL, 発音例 1 発音例 2, 1859 年 5 月 22 日 - 1930 年 7 月 7 日)は、イギリスの作家、医師、政治活動家。推理小説・歴史小説・SF 小説などを多数著した。とりわけ『シャーロック・ホームズ』シリーズの著者として知られる。SF 分野では『失われた世界』『毒ガス帯』などチャレンジャー教授が活躍する作品群を、また歴史小説でも『ホワイト・カンパニー(英語版)』やジェラルド准将(英語版)シリーズなどを著している。(Wikipedia 参照)